

好生館だより

好生館

KOSEIKAN DAYORI

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言……p1

[好生館ニュース]

平成28年熊本地震に関する
好生館の取組み 他……p2

[特集ページ]

ダヴィンチ紹介、
ライフサイエンス研究所紹介……p3

[診療科の紹介]

心臓血管外科、循環器内科、
整形外科・脊椎外科、乳腺外科……p4

看護部だより……p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、
医療支援部門だより……p6

開放型病院登録医のご紹介……p7

地域医療連携センターだより、
相談支援センターだより……p8

栄養の豆知識、
知っていますか？検査の話……p9

新任医師の紹介、歴史コーナー
リレー・フォー・ライフ……p10

外来医師一覧表……p11



Da Vinci

手術支援ロボット「ダヴィンチ」

好生館では、2016年5月からダヴィンチ
による手術を開始致しました。
こちらの記事は、P3の特集ページで
ご紹介しています。





理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

熊本地震で被災された患者さんからの言葉

平成28年4月14日午後9時26分、熊本県益城町付近を震源とする震度7の地震が発生し、続いて本震と思われる第二波が4月16日午前1時25分に起こりました。好生館も即座にDMATを派遣し、災害対策本部設置後、県、大学、医師会等と連携をとり、これまでに計7名の重傷患者さんをドクターヘリ等で受け入れ、全力で対応しました(外来受診の被災者は12名)。残念ながら一名がお亡くなりになりましたが、残り6名の方々は、心の傷を残しながらも、6月初旬までに無事退院されました。

その中のお一人から、退院時に以下の様なお言葉をご意見箱にいただきましたので、紹介させていただきます。

「益城町 唯の熊本県人より」と冠して、「私は今回の地震で、ヘリコプターで此の地にまいりました。そして佐賀県県民の人と心の絆の深さを身に沁みて感じさせられました。そして佐賀の県民性の心の優しさを否と言う程知らされました。仔細は今此処に書き尽くせませんが、隣人として深く感謝申し上げます。近くて最も頼れる隣人として感謝致しております。つかみ所の無い様な言葉で有りますが、唯唯信実として文を書かせて戴きました。(原文のまま)」

好生館職員からの寄附及び義援金は、自治体病院の仲間である倒壊した熊本市民病院へ贈呈させていただきました。熊本地方の地震は現在も完全には収まっていませんが、今回の地震で被害を被られた地域及び住民の方々の一日も早い復興を心より祈念いたします。

また、今回の熊本地震に際して献身的に奉仕活動をしていただきましたすべての好生館職員の皆様に深く感謝申し上げます。

館長から一言

館長

樗木 等

メディア報道で、多くの業界から謝罪や訂正、責任辞任などが目立ちます。東芝不正会計事件、三菱の燃費データ不正事件、スズキの燃費データ不正事件、羽田空港耐震工事不正事件など、はては都知事政治資金報告書訂正報告返還事件です。共通するのは、透明性が重要であり、結果に対する説明責任が求められています。中には盗人猛々しい対応もあり、社会的責任に対する倫理性の欠乏とも感じます。医療界も対岸の火事ではありません。

医療関連報道は国民の関心ごとで、医療関係者も注目しています。医療は患者を真ん中におき、種々の診療の選択の情報を提供し、説明にもとづき同意した診療行為に責任を負うことになります。

昨年10月1日から施行された医療事故調査制度はまさしく医療人のプロとしての自律性に基づく安全医療提供のための仕組みです。医療に嘘や不誠実は対極にあり、慎むべき事です。安心安全な医療のためには医療倫理を習得した医療人の涵養かんようが重要です。一朝一夕にはかないませんが、一生の目標です。

好生館は今後も安心安全な医療提供に努めます。





救命救急センター
副センター長 佐藤 友子



◀病院支援活動中の当館DMAT

平成28年熊本地震に関する 好生館の取組み

4月14日多大な被害を与えた熊本地震に際し、当館では3隊のDMAT派遣により熊本県庁の本部活動支援、被災病院支援、患者搬送に携わりました。

また館内に災害対策本部を設置し、7名の方が熊本県からドクターヘリで搬送されました。

亜急性期にはリハビリ科医師・精神科医師を派遣して避難所支援にあたり、職員による募金活動により熊本市市民病院への義援金の寄付を行いました。

復興に向け、今後も支援活動を続けていきます。



地域医療連携懇談会のご案内

地域医療連携センター長 田中 聡也
地域医療連携室 副室長 園田 美佐枝

今年度も、地域医療連携懇談会を開催いたします。当館からも各診療科医師が参加いたします。「顔が見える連携」の機会として、多数ご参加いただき、ご意見を拝聴し、また、交流を深めさせていただければと存じます。ご多忙のところ恐れ入りますが、是非ご参加いただけますようお願い申し上げます。

- 開催日：平成28年9月23日(金) 18:30～21:00
 - 場 所：ホテルニューオータニ佐賀
 - 内 容：
 - 第一部【講演】(予定)・ピカピカリンクの概要と利用状況について
 - ・カルナコネットによる予約の方法と現状
 - ・さがんパス.netの導入について
 - ・ピカピカリンク利用機関からの感想、要望
 - ・カルナコネット利用機関からの感想、要望
 - 第二部【意見交換会】・ピカピカリンクの実機操作体験
- 詳細は改めてお知らせいたします。

「さがランチ」を 始めました



栄養管理部
栄養管理長 小根森 智子

平成28年4月から、地元佐賀のレストラン(さがレトロ館)とJAの協力を得て、給食で月1回、生産者を記載した県産農産物を用いた地産地消メニュー「さがランチ」を始めました。また、当館ホームページ内に「佐賀県の食と健康」のサイトを開設し、栄養・食事についての情報提供や、「さがランチ」の作り方と治療食への展開方法を掲載しています。また、「さがランチ」はもちろん、日ごろの病院食に彩りを添えるために、屋上庭園の一角にハーブガーデンを作り、献立に取り入れています。



人間国宝の井上萬二氏、ご子息 康徳氏より作品を寄贈して頂きました

財務課 財務係
係長 宮口 あや

平成28年4月26日(火)、佐賀を代表する陶芸家井上萬二氏とそのご子息康徳氏より壺を寄贈いただきました。

ご寄贈いただいた壺は、美しい色合いがやわらかなのですが、どこか凛とした風格を漂わせています。人間国宝でもある井上萬二氏は、神の手を持つと言われ、努力を惜まず神髓を究めた求道者であり、85歳を過ぎた今でも若手陶芸家とのコラボ企画に取り組んだり、アメリカ等海外での陶芸指導も行っているらしいです。そんな井上萬二氏のように、努力を惜しむことなく、医療の神髓を究め、最良の医療を提供し続けていく存在でありたいと思います。



(右)井上萬二氏作「青白磁蕃薇彫文」
(左)井上康徳氏作「白磁緑蝶彫文」

新人歓迎 ソフトバレーボール大会 開催報告



総務課 主事
中山 佳郎



平成28年5月14日(土)に市村記念体育館において、「好生館親睦会新人歓迎ソフトバレーボール大会」が開催されました。

当日は、榑木館長をはじめ多くの職員にプレイヤーまたは応援者として参加していただきました。試合は、6チームに分かれ熱戦が繰り広げられました。皆さん仕事の疲れも吹き飛びリフレッシュされ、また、職員相互の親睦が大いに深まりました。



ダヴィンチ手術が 始まりました!

手術部長・消化器外科主任部長
兼肝胆膵外科部長

北原 賢二



手術部における2015年度の手術件数は総数6,474例で、2年連続年間手術症例数が6,000例を突破しました。さらに、2016年5月18日には第一例目のダヴィンチによる前立腺全摘出術が無事行われ、今後もロボット支援下手術の増加も予想されます。

一方、高度化し増加する手術をいかに安全確実にこなしていくかが重要で、手術部ではスタッフが一致団結して機能の充実と運営の合理化に心血を注いでいます。

佐賀県の医療を担う好生館の手術部としては、患者さんが安心して好生館での手術を受けていただけるように、安全な手術環境維持に努めます。

前立腺がんのロボット手術を 開始致しました

泌尿器科医長

諸隈 太



前立腺がんに対する根治手術は前立腺全摘出術になります。前立腺全摘出術には、①開腹手術・②腹腔鏡手術・③ロボット手術があります。このたび手術支援ロボットである「ダヴィンチ」が好生館に導入されました。これに伴い泌尿器科では今年5月より「ロボット支援前立腺全摘出術(ロボット手術)」を開始致しました。

この手術は米国では2000年頃から始まり、現在では米国の前立腺全摘出術の約90%がロボット手術で行われています。日本でも2012年から保険適応となりロボット手術は急速に増えています。日本では前立腺全摘出術の約40%(年間約9000件)がロボット手術で行われています。ロボット手術の特徴は(他の手術と比べて)、出血が少ない、痛みが少ない、入院期間が短い、尿失禁の改善が早い、社会復帰が早い等のメリットがあります。今後もより安全な手術を目指して、ダヴィンチチーム一丸となって努力して参ります。

好生館ライフサイエンス研究所 紹介

ライフサイエンス研究所 所長

前 隆男

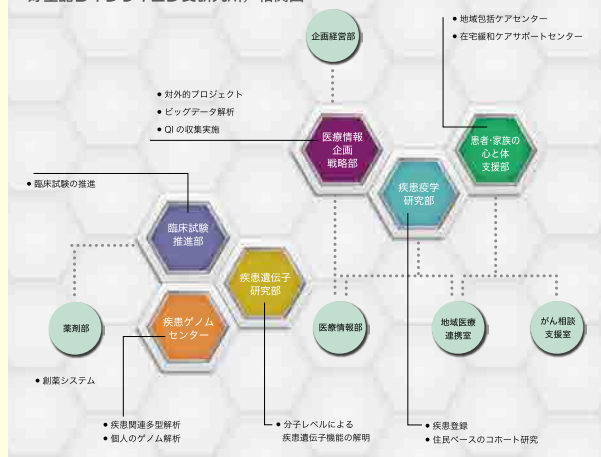


好生館のその長い歴史をたどってみると、多数の顕微鏡が並んだ研究室で医師、看護師が病理学の研究をした記録や実験用の動物を飼育していた写真が多く残されています。

明治という時代に先進的な存在であった好生館研究所もその後引き継がれることなく眠りについてしまいました。しかしながら「学問なくして名医になるは覚束なきことなり」という好生館設立の理念に立ち戻って平成26年6月に「好生館ライフサイエンス研究所」が再興されました。

本研究所は、疾患疫学研究部、医療情報企画戦略部、患者・家族の心と体支援部、臨床試験推進部、疾患遺伝子研究部、疾患ゲノムセンターの6部門から成り臨床と直結し、地域に還元できる医学研究を行っています。

好生館ライフサイエンス研究所/相關図



また、設立と同時に国の科学研究費申請ができる施設として認可を受けました。これによって外部資金を得て臨床試験や開発的研究を積極的に行うことが可能になっただけでなく、若い医師のリサーチマインドの醸成促進に寄与することが出来るようになりました。

近い将来に周辺教育機関との連携大学院を設立することを目指して準備を進めています。



ハートセンター

心臓血管外科

医療安全と 心臓血管手術

ハートセンター長 兼
心臓血管外科部長

内藤 光三



内視鏡手術やカテーテル治療などの低侵襲手術が第一選択となった現在でも、心臓血管手術は他科の手術と比較すると患者に対する侵襲が大きいので、如何に安全かつ短時間に手術を終えるかが重要です。

当科では術前の患者状態評価、手術適応と術式選択、術中術後管理のすべてのフェーズにおいて、安全である事を最優先事項としています。また手術による合併症が発症した場合は、チームとしてその原因究明を行い、再発防止策を立てています。医療安全と心臓血管手術は切っても切れない関係である事を心に刻み、スタッフ一同で日常の診療に励んでおりますので、今後とも何卒宜しくお願いいたします。

循環器内科

24時間循環器 救急疾患に 迅速に対応!

循環器内科
部長

江島 健一



循環器内科はハートセンターの内科部門を担当しています。虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンションや不整脈に対するカテーテルアブレーションなどのカテーテル治療、また不整脈や心不全に対する人工機器治療などでは佐賀県下で第一の施設となっています。また急性心筋梗塞や急性大動脈解離、急性心不全などの循環器救急疾患には24時間体制で対応しており、心臓血管外科と協力して高度な集中治療を行っています。

昨年、最新の12誘導心電図伝送システムを導入し、救急隊からの心電図伝送を可能とし迅速な急性心筋梗塞治療を実現しました。私たちは日々たゆまぬ努力を地域の皆様の期待に応えるべく、続けていきたいと思っています。

整形外科・
脊椎外科

地域を支える 好生館整形外科の 三本の柱

副館長・
整形外科部長

前 隆男



整形外科ではしっかりした三つの柱をもっています。

一本目は大黒柱の外傷整形外科です。外傷センターと緊密に連携して数多くの外傷治療を行っています。ハイブリッド手術室なども完備しておりあらゆる救急外傷に対応できる設備と陣容を有しています。

二本目は関節外科です。人工股関節、膝関節、関節鏡手術などを行っています。低侵襲な人工関節を行い早期の社会復帰を可能にしています。

三本目は脊椎外科です。内視鏡を使用して椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの手術を行い術後の痛みの少ない治療に取り組んでいます。

これらの三本柱はお互いに継ぎあいながら屋台骨として整形外科を支えるとともに医療連携の礎を築いています。

乳腺外科

“乳房再建”を希望される 患者さんが 増えてきました

プレストセンター長
兼乳腺外科部長

白羽根 健吾



乳房再建術とは乳がんの手術で失った乳房を新しく作り直す手術です。当館では乳腺外科(乳腺専門医)と形成外科(専門医)が連携して行っています。2013年7月から、乳がんに対して乳房切除術(全摘術)を行った患者さんに対し、保険診療で乳房再建が行えるようになりました。保険適応前は乳房片側100万円程度でしたが、保険適用により30万円程度で受けられるようになりました。患者さんにとって朗報といえます。但し、この保険適応の乳房再建は特定の学会(日本オンコプラスチックサージャリー学会)の認定を受けた病院でのみしか受けられず、好生館は佐賀県内で最初に認定を受けた(一次・二次再建両方とも)施設です。そのため当館でもこの手術を希望・受けられる患者さんが増えてきています。詳細な情報提供に関してはお気軽に受診・ご相談ください。



しよく そう 褥瘡今昔ものがたり

褥瘡の歴史を紐解くと、明治末期(1900年代前半)「実地看護法・明治41年初版発行」に、褥瘡の予防法として、「体位変換は勿論、寝床の整頓、ゴム製空気輪、アルコールやでんぷんの散布等に対応している」と記されています。

昭和中期(1950～1960年代)はドライヤーの普及と共に、褥瘡を乾燥させて創を痂皮下する方向へと変革しました。この記事を読んでいる医療従事者の方の中には大きく頷いている人も多いと思います。

1970年代以降は、看護用具も変革し、1972年国産初のエアマット、エア噴出型が発売され、こんな便利なものがあるのかと感心したものです。褥瘡は看護の恥として、長い間隠蔽されていました。1980年代以降、薬剤治療と創傷被覆材料が進歩し、褥瘡によって使い分けが行われ、皮膚は乾燥、創は湿潤と治療法は大きく変革し現在に至っています。

さて、好生館に目をむけてみると、法人化した平成22年度に前年度の褥瘡発生率を出し、館内褥瘡発生率の高さに驚愕しました。そこから好生館の褥瘡担当者教育が始まったのです。年々、現場に活かした褥瘡治療・予防ケアが実践され、発生率も1.02%から平成27年度には0.12%と成果をあげています。



学会副会長を務めました

さる4月29日、第13回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会を開催いたしました。テーマは『初心忘るべからず』です。熊本地震の発生後にも関わらず、熊本を含めた九州各県から1,243名の参加があり、盛会に終わることができました。

以前から行っている体位変換も、行っただけでは褥瘡予防ケアとは言えません。体位変換を行ったことにより生じる圧とずれを失くすために、背抜きを確実に行うことが褥瘡予防ケアの基本であることを再認識しました。努力を惜しまず、患者に褥瘡をつくらぬものがたりを増やしていきたいものです。



皮膚・排泄ケア認定看護師 江口 忍

左から、増本形成外科部長、本人、講師、中川原理事長



「看護の日」イベント開催

好生館のテーマ「看護師はいつもあなたの傍に」

好生館では5月13日に「看護の日」のイベントを開催しました。

今年度の「看護の日」行事のトピックスは、熊本地震に関連したDMAT・救急医療のコーナーを設け、DMATのユニフォームの展示、ドクターカーと救急外来処置室の見学、AEDのデモンストレーションを行いました。





感染制御部だより

感染防止対策加算

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



平成24年度の診療報酬改定で、感染症対策推進の目的で「感染防止対策加算」が新設され、平成28年度の改定で変更はありませんでした。

「感染防止対策加算」は施設規模や感染制御チームの人員要件等に応じて算定でき、好生館は加算1を算定し

ています。

加算1の要件の一つに、感染防止対策加算2を算定している医療機関と合同で年4回程度、定期的に院内感染対策に関するカンファレンスを開催することがあります。

好生館も4つの医療機関と合同カンファレンスを行っており、今後も近隣の医療機関と連携を取りながら地域全体で感染対策へ取り組んでいきたいと考えています。

+ 医療安全管理部だより

GRMが交代しました

医療安全管理部
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



平成24年度からの4年間、GRMとして活動した前任者に代わり、今年度より川内ひとみがGRMの任命を受けました。これまで歴代の方々が好生館に医療安全の種をまき育てられてきた『木』を枯らすことなく、さらに大きく・太く育てていきたいと思っています。

今年度はヒヤリ・ハット報告事例をセーフティマネジャーと共に分析し対策を立て、実践につなげるような関わりをしていきたいと思っています。

また、不正確で不十分なコミュニケーションほど事故に繋がります。医療職間のつながりを強め事故防止を図っていきたいと考えています。



医療支援部門だより

造影CT検査について

放射線部
技師長 濱田 洋



CT検査時に造影剤を使用する場合は、事前に聞き取りや説明を行い、検査当日は、「同意書」を持参し、絶食して来て頂くようにしています。

当院CT室では、検査時に副作用が見られた場合、その情報を記録して次回検査に反映しており、再度造影検査が必要な場合は、その時とは成分の異なる別の造影剤を使用しております。

副作用は、造影剤投与後数時間から数日後に発症することもあるため、何か異常が見られた場合は、すぐに診療科へご連絡ください。

また、CT検査時にその旨を教えて頂ければ、より安全な検査を行うことができます。



プラス・10で健康増進

リハビリテーションセンター
主任理学療法士 市丸 勝昭



運動量が多い人は、「生活習慣病」や「がん」だけでなく、転倒・骨折・認知症の発症率も少ないことが明らかになっています。

しかし、この10年間で私たちの一日あたりの歩数は約1,000歩減少しています。約1,000歩はウォーキングに相当すると10分程度であり、「プラス・テン(今より10分多く体を動かす)」を目安として、身体活動を増やすことが勧められています。筋力や瞬発力、持久力は20歳前後がピークですが、トレーニング効果は年齢にかかわらず高齢者でも同様です。

“健康で長寿”が“運動”で叶えられるならば、「普段の生活にちょっとだけプラスした運動をはじめてみる」のも良いかもしれません。



開放型病院登録医のご紹介

医療法人
みぞかみ耳鼻咽喉科

〒840-0047
佐賀市与賀町4-21
TEL 0952-22-4057

院長
溝上 宏幸



当院は佐賀市与賀町で耳鼻咽喉科全般の診療を行っている無床診療所です。日頃より好生館の先生方や職員の方々には大変お世話になっております。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、他科の先生にも快く患者さんを受け入れていただき感謝しております。救急疾患への対応も迅速かつ、的確に処置していただき大変助けられています。

好生館は私たち開業医の何よりの頼りです。今後とも病診連携をよろしくお願い申し上げます。



やさか内科皮膚科

〒840-0015
佐賀市木原1丁目24-38
TEL 0952-29-1722

院長
八坂 達臣



昭和53年4月から10年間ほど好生館内科に在籍しました。平成26年6月に水ヶ江から現在地の木原に移転し内視鏡内科、皮膚科、訪問診療を主体に診療しています。

主な仕事を息子たちと妻に託し、私は訪問診療を担当しています。65歳隠居説を理想としてきましたが、隠居見習いが続いています。

これからも好生館の方々にはお世話になるかと思いますが宜しくお願いいたします。



黒沢内科医院

〒840-0012
佐賀市北川副町光法1597-14
TEL 0952-26-1723

院長
黒沢 美郎



平成11年1月に開業以来17年、いろいろ大変でしたが地域の人たちに支えられ、何とか今日までやってこれることができました。

院長室の窓から見える景色も様変わりし、麦秋という言葉も忘れそうです。

この時期、ほんの数年前まで窓を開けると、毎年この言葉が浮かんでいたのですが…。

患者さんに寄り添い、より良いかかりつけ医を目指して、元気で働き者のスタッフと共に、これからも日々努力してまいります。



医療法人
野田好生医院

〒845-0013
小城市小城町栗原5番地4
TEL 0952-72-3232

院長
野田 和良



私は水ヶ江の県立病院で昭和51年9月から62年6月までの約11年間勤務いたしました。当時は佐賀大学病院が開院前であり、30歳代の私たちは一日中病院にいて診療をしていました。その後まもなく私は小城市で診療所を自己開業いたしました。患者さんは0歳から100歳までの急性疾患中心に終末期の方まで外来および往診にて診療しています。最初の頃から土、日、夜間、深夜まで急患があり、特に盆、正月にはしばしば医療センターへお世話になっています。救急のみならず日常疾患の診療も徐々に紹介する例が増えております。しかしながら、当院では何度も予約外来を試みますが、なかなか軌道に乗れず、今でも少数の患者さんのみです。



医療法人
信愛整形外科医院

〒840-0843 佐賀市川原町4-8
TEL 0952-22-1001
HP <http://www.shin-ai-seikei.jp/>

理事長・院長
森永 秀和



昭和62年に有床診療所を開設。今年の4月、開院30周年を迎えました。この間、好生館の先生方には大変お世話になり、感謝しております。昨年の4月より、息子の穰地先生と楽しく診療しております。

手術症例も増えてまいりました。73名の職員と力を合わせ、知恵を出し合って、魅力ある整形外科医療・健康づくり・疾病予防・介護予防サービスを提供していきたいと考えています。

今後とも、よろしく願いいたします。



医療法人
北川整形外科

〒840-2213
佐賀市川副町大字鹿江953
TEL 0952-45-8520

院長
北川 守



平成6年より川副町のショッピングセンターラポールの敷地内で整形外科を開業しています。地域がら海苔養殖や農業などの重労働による腰や膝の痛みが強い患者様が多く、好生館の先生には人工関節を含め本当にお世話になっています。

又骨折等の緊急治療が必要な場合には、時間外でも快くお引き受けいただき、本当に助かっております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。





地域医療連携センター

インターネット予約を始めました

地域医療連携室では、平成28年4月11日(月)より、連携医療機関から新患者の事前予約をインターネットで直接できるシステム(カルナコネクト(C@RNA Connect)予約システム)の運用を開始しました。

109施設(5/13現在)からの新規申し込みをいただき、インターネットでの予約件数も徐々に増えて

地域医療連携室

副室長 園田 美佐枝



おります。

引き続きC@RNA Connect 予約システムの新規申し込みをお待ちしております。電話、FAXでの事前予約受付も行っておりますので、よろしくお願いいたします。

連絡先 地域医療連携室(TEL:0952-28-1495)

相談支援センターだより

新任のあいさつ

相談支援センター
室長

日浦 あつ子



4月より相談支援センターでがん相談に対応しています。

これまで緩和ケア病棟看護師長として長く関わらせてもらった経験を生かして、がん患者さんと家族、それを取り巻くスタッフも支援できたらと思っています。

なんでも気軽に相談してください。

緩和ケア研修会について

相談支援センター

副室長 田代 加代子



緩和ケア研修会が、5月21日(土)/5月22日(日)の2日間、好生館にて開催されました。医師、看護師、MSW、歯科衛生士と県内様々な医療機関より51名の参加があり、充実した内容での研修会となりました。

平成28年度 緩和ケア研修会のお知らせ

- ①9月10日(土)・9月11日(日) 唐津赤十字病院
- ②10月29日(土)・10月30日(日) 佐賀大学医学部附属病院
- ③平成29年1月下旬予定 嬉野医療センター開催 予定です。

是非、ご参加くださいますようお願いいたします。
担当:緩和ケア科 小杉部長、一般相談支援室 原田までお尋ねください。

緩和ケア症例検討会について

相談支援センター 副室長 田代 加代子

好生館では、「緩和ケア症例検討会」を開催しております。

がん患者さんの支援を担う地域の医療機関、在宅医、訪問看護、居宅介護支援事業所等との連携と、その質の担保と向上を目指して、院内外が多職種で、がんの疾患についての知識や現状、治療、注意点、ポイントについてともに学び、情報提供の場や、有意義な交流の場にしたいと思っております。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

担当:一般相談支援室 原田までお尋ねください。

平成28年度 緩和ケア症例検討会

日時	テーマ
5月18日(水)	終末期の輸液と栄養・口腔嚥下について
7月27日(水)	呼吸器症状と消化器症状
9月14日(水)	あらためて痛みを学ぶ
11月 9日(水)	死にたいほど辛いと言われたら(不安・不眠・恐怖・抑うつなど)
1月18日(水)	終末期の鎮静(辛い症状がこれ以上緩和できないとき)
3月15日(水)	死を学ぶ・死に向きあう(看取りの教育と看取りの実践)

栄養の  知識

冷たい“そうめん”が
おいしい季節になり
ました

栄養管理部
 栄養管理長 小根森 智子



そうめんはごはんやパンと同じ主食の仲間
 で、あの細い1束(50g)ではん軽く1杯約100g
 (コンビニおにぎり1個分くらい)と同じエネルギ-
 量になります。つるつる入るので、食欲が落ち
 やすい夏場にはエネルギ-をとりやすい好都
 合な食べ物ですが、エネルギ-を気にする方は
 要注意です。

つつい食べ過ぎてしまう方は、のどごしで
 食べずに、よくかんだり、すくう量を少なくしたり、

ひとすくいごとに箸を置くのもおすすめです。

また、そうめんにめんつゆだけでは、塩おに
 ぎりだけで食事を終わらせたのと同じようなも
 の。湯を沸かしている間に用意できる、きゅうり
 やキャベツなどの生野菜や、切るだけで食べら
 れる奴豆腐なども一緒にとると、手軽に栄養
 バランスがよくなります。また、野菜をよく噛ん
 で食べることで食べ過ぎ予防にもなります。

なお、そうめん自体にも塩分があるので、つ
 ゆをたっぷりつけるとさらに塩分が多くなりま
 す。ねぎやしそ、生姜、ごま、みょうがなどの薬
 味をたっぷり使うと、めんつゆが少なくてもお
 いしく食べられます。夏に
 うれしい手軽なそうめん、
 ヘルシーにおいしくいた
 だきましょう。



知っていますか？

検査の  話

輸血のおはなし

検査部一般・輸血検査部門
 技師 本山 千恵



血液を一種の臓器と例えるならば、輸血は
 ごく身近に行われている臓器移植です。
 他人の血液を輸血するのはちょっと心配だ
 …など輸血に対して不安を感じる方もいらっ
 しゃるのではないのでしょうか？

輸血に使う血液の多くは、健康な方の善意に
 よる献血から造られたものであり、日本赤十字社
 血液センターにより管理されています。
 ときに感染症や免疫反応による副作用などの
 リスクもありますが、現在、検査法の発達により
 安全性は向上しています。

また、一部では手術で輸血が必要となる場合
 のために、自分の血液をあらかじめ採血し保管
 しておく自己血輸血の選択も可能です。こちら

は自分の血液ですから安心ですよ。
 当館には自己血外来を設けておりますので、
 興味のある方はお気軽にお尋ね下さい。

輸血は生命を救う大切な治療の1つです。
 輸血を受けられる際は、不安のないようしっか
 り医師に話を聞いてみましょう。

また、健康な方は献血に足を運んで頂き、命
 をつなぐお手伝いをされてみてはいかがでしょうか？





7月1日付



消化器内科医師
医長
富永 直之

専門の知識と技術をもって、患者さんに最適な医療を提供できるよう、全力で診療をおこないます。
安心して受診して下さい。



好生館の外国人教師による医学教育

副館長 林田 潔



デーニッツ一家

好生館の1階エントランス左奥に、好生館で教鞭を執った(明治12~18年)ドイツ人医師デーニツ一家の写真が飾られています。

好生館では、医学校として明治4年からシモンズ、ヨルクハンスン、スローン、デーニツらの外国人教師による最先端の医学教育が行われ、多くの人材が輩出されました。

佐賀県(当時伊万里県)が、外国人教師ヨルクハンス

を雇い入れに当たり、前任のシモンズ同様、月給300^{ドル}弗に加えて、通弁の月給110弗、食用料90弗合計500弗で雇いたいとの願いを大蔵省へ出した明治4年の記録があります。この時の1弗はおよそ1円で、好生館の日本人の大教諭(1等教諭)が拾七円との記録がありますので、大変高額の月給をもって招聘したことが分かります。

当時の佐賀県の熱意を強く感じる記録です。

どん³の森 9/24・25開催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 佐賀♪ 盛り上げよう!

がん相談支援センター

がん相談支援係長・MSW 大石 美穂



佐賀で2回目となるこの大会は、がん征圧を目指し、参加者が交代で歩き勇気と希望を分かち合います。

今年のテーマが「集う」であるように、がん患者やその家族・支援者がこの会場に集い、楽しみ、苦悩さえも共有し支え合う「場」となるよう、大会副会長の中川原理理事長はじめ、当館も多くの職員が参加させていただきます。

延期となった被災地熊本での開催を願い、精一杯盛り上げることで、エールを送ります。



木原慶吾実行委員長、中川原章大会副会長を始め
実行委員会キックオフ☆☆☆

がん相談支援センター TEL 0952-28-1210

URL www.koseikan.jp

外来医師一覽表

(平成28年7月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内科	総合内科	新患 再来	池田 園子 松石 英城	松石 英城 池田 園子	池田 園子 松石 英城	松石 英城 —	池田 園子 —
	呼吸器内科	新患 再来	小宮 奈津子 久保田 未央	岩永 健太郎 加藤 剛	加藤 剛 岩永 健太郎	久保田 未央 加藤 剛	久保田 未央 岩永 健太郎
		肝胆膵内科	—	河口 康典/中下 俊哉	古賀 風太	中下 俊哉/桑代 卓也	河口 康典/桑代 卓也
	消化器内科	新患 再来	当 番 医 中山 敦史	当 番 医 緒方 伸一	当 番 医 富永 直之	当 番 医 緒方 伸一	当 番 医 行元 崇浩
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	中山 敦史(午前)	—
	血液内科	新患 再来	近藤 誠司 横尾 眞子	横尾 眞子 権藤 久司/久富 崇	久富 崇 近藤 誠司	近藤 誠司 久富 崇/移植後7日-7日7外来(午後)	横尾 眞子(第1・3・5金曜)/ 久富 崇(第2・4金曜)
		腎臓内科	—	力武 修一	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿病代謝内科	—	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	—
	腫瘍内科(予約・紹介)	新患/コンサル 再来	大塚 大河 嬉野 紀夫/大塚 大河	小楠 真典 嬉野 紀夫/小楠 真典	嬉野 紀夫/小楠 真典 嬉野 紀夫/小楠 真典	嬉野 紀夫 嬉野 紀夫/大塚 大河	大塚 大河/小楠 真典 大塚 大河/小楠 真典
		感染症(予約・紹介)	—	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ(14:00~16:00)	—	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)	—	—	—	多田 芳史 小野 伸之
	透 析	—	中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一
	小児科	午前 (専門外来については小児科外来にお問い合せください)	—	担当医	担当医	担当医	担当医
		午後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診種	神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来 予防接種	1ヵ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来
循環器内科	午前	江島 健一 古閑 靖章	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 中村 郁子	古閑 靖章 中城 総一	林田 潔 江島 健一/秋山 雄介	
	午前 不整脈外来 ペースメーカー外来(予約制)	—	—	—	—	山口 尊則(第3金曜日休診)	
	午後 検査	—	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	—	
精神科	午前(完全予約制) 再診 8:30~12:00 初診 月~金 12:00~13:00 午後	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 非常勤医師	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	
	午後	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)					—
放射線科	放射線診断・IVR	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午前 新患/再来	高島 洋	高島 洋	小野 南月	小野 南月	高島 洋	
	午後 (14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置	回 診	—	高島 洋	—	
脳血管内科	午前	上床 武史	杉 森 宏	東 英 司	上床 武史/榑 佑介	杉 森 宏	
緩和ケア科	午前(再診) 午後(新患)	完全予約制	—	—	—	—	
禁煙外来	午後	完全予約制	—	岩永 健太郎(14:30~16:30)	林田 潔(13:30~15:30)	寺崎 泰宏(14:30~16:30)	
外科	消化器外科	新患 再来	田中 聡也 佐藤 清治	平木 将紹 姉川 剛	久保 洋 池田 貯	池田 貯 平木 将紹	姉川 剛 田中 聡也
		肝胆膵外科	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	久保 洋	北原 賢二
	乳腺外科	—	—	手術	白羽根 健吾/藤野 稔	手術	白羽根 健吾/藤野 稔
	呼吸器外科	新患 再来	—	—	—	—	—
		手術	—	寺崎 泰宏 寺崎 泰宏/松竹 晴美	—	寺崎 泰宏 寺崎 泰宏/松竹 晴美	—
	小児外科	新患 再来	—	—	—	—	—
手術		—	—	—	—	—	
眼科	午前 午後	手術 検査	手術 検査	手術 検査	手術 検査	手術 検査	
	午後	手術	手術	手術	手術	手術	
産婦人科	午前 午後	婦人科 産科	安永 牧生/川崎 いずみ 室 雅 巳	—	安永 牧生/光 貴子 川崎 いずみ	—	
	午後 婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	川崎 いずみ 室 雅 巳	光 貴子 室 雅 巳	手術日 (急患のみ担当者)	八並 直子 室 雅 巳	手術日 (急患のみ担当者)	
	(14:00~16:00)	午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。					—
耳鼻いんこう科	午前 午後	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
泌尿器科	午前 午後	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
歯科口腔外科	午前 午後	完全予約制	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
形成外科	午前 午後	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
皮膚科	午前(紹介のみ)	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
整形外科	一般整形 脊椎	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
脳神経外科	午前 午後	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
心臓血管外科	午前 午後	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
人間ドック	一般 脳ドック 心臓ドック	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
	手術	—	—	—	—	—	
看護専門外来	完全予約制	—	—	—	—	—	